

目次

序論.....	4
第一節 研究動機と目的・範囲.....	4
第二節 先行研究と研究方法.....	7
一、先行研究について.....	7
二、研究方法.....	11
第三節 志賀文学の初期短篇.....	14
一、作品について.....	14
二、初期短篇.....	15
本論.....	17
第一章 「剃刀」の表現と心理.....	17
第一節 題意と梗概.....	17
一、題意.....	17
二、梗概.....	17
第二節 時代的背景.....	18
第三節 人物と行動.....	19
一、芳三郎から見る.....	19
二、源公と治太公から見る.....	23
三、兼次郎と錦公.....	25
四、女房のお梅の視点.....	26
五、若者の客の登場.....	27
六、時子の存在.....	28
七、芳三郎の周り.....	30
第四節 心理の分析.....	32
一、はじめに.....	32
二、芳三郎の心理分析.....	33
三、夫婦関係から芳三郎の心理を見る.....	36
四、赤児の存在から芳三郎の心理を見る.....	40
五、性的な不潔感から芳三郎の心理を見る.....	44
六、被害者の若者から芳三郎の心理を見る.....	44
七、まとめ.....	47
第二章 「濁った頭」の表現と心理.....	49
第一節 題意と梗概.....	49
一、題意.....	49
二、梗概.....	49

第二節 時代的背景.....	50
第三節 人物と行動.....	50
一、津田の告白.....	51
二、お夏について.....	59
第四節 心理の分析.....	61
一、はじめに.....	61
二、津田の心理分析.....	61
三、キリスト教の視点から津田の入信を見る.....	65
四、性的な不潔感から津田の心理を見る.....	67
五、まとめ.....	67
第三章 「范の犯罪」の表現と心理.....	68
第一節 題意と梗概.....	68
一、題意.....	68
二、梗概.....	68
第二節 時代的背景.....	69
一、時代的背景.....	69
二、明治時代の支那社会.....	69
第三節 人物と行動.....	71
一、座長の視点.....	72
二、口上いいの視点.....	72
三、支那人の助手の目からの范.....	73
四、死亡した妻.....	74
五、范について.....	77
六、裁判官の視点から范を見る.....	80
第四節 心理の分析.....	82
一、はじめに.....	82
二、范の心理分析.....	82
三、夫婦関係から范の心理を見る.....	85
四、赤児の存在から范の心理を見る.....	88
五、キリスト教の視点から范の入信を見る.....	90
六、性的な不潔感から范の心理を見る.....	92
七、被害者の意識に向ける范.....	92
八、まとめ.....	95
結論.....	97
第一節 三作品における時代と特徴.....	97
第二節 主人公の共通と差異.....	97
第三節 犯罪短篇の意義.....	101
第四節 今後の展望.....	102

テキスト..... 103

参考文献（五十音順）..... 103

